

Sumitomo Mitsui Banking Corporation Brazil DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

マーケットサマリー

昨日のドルレアルスポット相場は、先週の欧州中央銀行(ECB)による追加緩和観測や中国人民銀行の利下げを受けて、取引開始直後こそ3.82台半ばまでレアル高が進行したものの、経済の見通し悪化や財政懸念が再びレアルの重石となり、引けにかけては反転。3.90台半ばで取引を終えた。中銀が公表した週次サーベイによると、年末の成長率見通しは前週の3.00%減から3.02%減で15週連続で悪化。また、インフレ率(IPCA)見通しも9.75%から9.85%へ引き上げられた(16年末も6.12%→6.22%へ上昇)。財政目標については、政府は22日に既にプライマリーバランスの黒字化を断念することを正式に発表したものの、赤字幅への具体的見通しは依然示されていない。一部報道では、「本日中に公表される可能性が高い」と報じられているが、仮に赤字幅が大方の予想である500億レアルを上回った場合、レアルは再び軟調な展開になることが予想される。

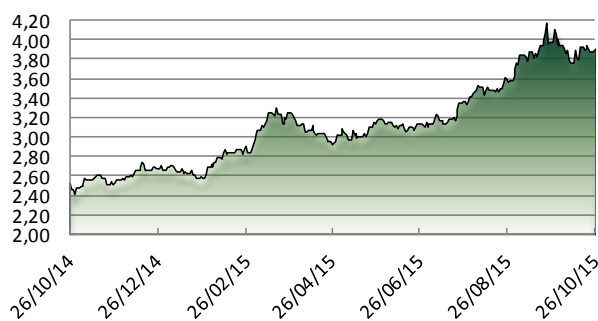
本日からFOMCが開催される(27-28日)。前回9月会合の議事録では、一部の参加者が「見通しへの下振れリスクがある」と指摘した他、「労働市場のさらなる改善を示す材料を待つ必要がある」などの見解が示された。前回会合以降に公表された米経済指標を踏まえると、今回も利上げは見送られると予想されるが、12月利上げに向けて何らかのシグナルが発信されるか否か、注目したい。

マーケットデータ

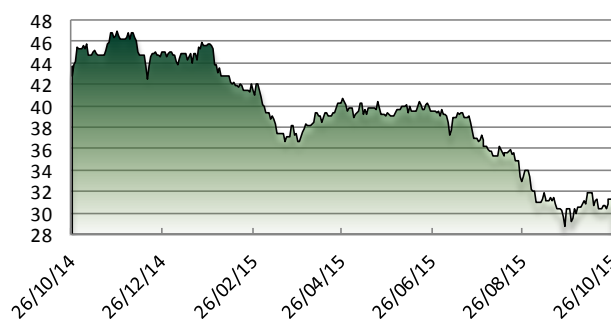
Indicator		Unit	10月23日	10月26日	前日比	9月25日	1ヶ月前比
レアル	対ドル	BRL	3,8763	3,9072	+0,0309	3,9755	-0,0683
	対円	JPY	31,31	31,00	-0,31	30,35	+0,65
	対ユーロ	BRL	4,2687	4,3180	+0,0493	4,4513	-0,1333
円	対ドル	JPY	121,47	121,10	-0,3700	120,59	+0,5100
	対ユーロ	JPY	133,84	133,91	+0,07	135,03	-1,12
Bovespa (ブラジル株価指数)		Index	47.597	47.209	-388	44.831	+2.378
CDS Brazil 5yrs (クレジットデフォルトスワップ)		bps	455,1	451,7	-3,4	487,6	-35,9
Brazil 10yrs Gov. Bond		%	15,93	15,89	-0,04	15,88	+0,01
DI Future Jan17 (金利先物)		%	15,35	15,32	-0,03	15,59	-0,27
3 Months US Dollar Libor		%	0,323	0,323	+0,000	0,326	-0,003
CRB Index (国際商品指数)		Index	193,7	192,3	-1,4	195,7	-3,4

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。

ドルレアルスポットチャート



レアル円スポットチャート



本レポートは情報の提供を目的としており、何らかの行動を喚起するものではありません。ここに示した意見は本レポート作成現在の筆者の意見を示すのみです。データや数値の抽出範囲・基準は任意で設定している場合があります。データ・資料等については、数値等の誤りが含まれている可能性があります。本レポートに基づき、お客様が投資のご判断をされた結果生じた損害・損失については当行は一切責任を負いません。投資や資金運用に関する最終決定は、お客様ご自身で判断されるようお願い申し上げます。本レポートの全部または一部の無断コピー・転載はご遠慮頂きますようお願い申し上げます。